

2024年度版「合格への早道」正誤表

頁	誤	正																																																												
P27	④ 運転停止時間が24時間以上の製造支障事故 (⑫に掲げるものを除く。)	④ 運転停止時間が24時間以上の製造支障事故 (⑬に掲げるものを除く。)																																																												
	⑦ 30戸以上500戸未満の供給支障事故 (保安閉栓を除く - 注 1)	⑦ 100戸以上500戸未満の供給支障事故 (保安閉栓を除く - 注 1)																																																												
P28	⑨ 高・中圧の主要なガス工作物の損壊事故 (①から⑧まで及び⑫に掲げるものを除く。)	⑨ 高・中圧の主要なガス工作物の損壊事故 (①から⑧まで及び⑩ ⑬に掲げるものを除く。)																																																												
	(追加)	⑩ 高・中圧の主要なガス工作物(製造所に設置されたものに限る) の損壊事故(①から⑧まで及び⑬に該当ものを除く。)																																																												
	⑩ 低圧の主要なガス工作物の損壊事故(①か ら⑧まで及び⑫に掲げるものを除く。)	⑪ 低圧の主要なガス工作物の損壊事故(①か ら⑧まで及び⑬に掲げるものを除く。)																																																												
	⑪ ガス工作物からのガス漏えいによる爆発・ 火災事故(①, ⑤及び⑫に掲げるものを除く。)	⑫ ガス工作物からのガス漏えいによる爆発・ 火災事故(①, ⑤及び⑬に掲げるものを除く。)																																																												
	⑫ 自然災害又は火災による広範囲の地域にわ たるガス工作物の損壊, 製造支障, 供給支 障事故で, 経済産業大臣が指定するもの。	⑬ 自然災害又は火災による広範囲の地域にわ たるガス工作物の損壊, 製造支障, 供給支 障事故で, 経済産業大臣が指定するもの。																																																												
	⑬ ガス工作物の欠陥・損傷・破壊又はガス工 作物の操作により, 一般公衆に対し, 避難, 家屋の破壊, 交通の困難等を招来した事故 (①から⑫までに掲げるものを除く。)	⑭ ガス工作物の欠陥・損傷・破壊又はガス工 作物の操作により, 一般公衆に対し, 避難, 家屋の破壊, 交通の困難等を招来した事故 (①から⑬までに掲げるものを除く。)																																																												
	⑭ ガス栓の欠陥, 損壊又は破壊により人が死 亡し, 中毒し又は酸素欠乏症となった事故	⑮ ガス栓の欠陥, 損壊又は破壊により人が死 亡し, 中毒し又は酸素欠乏症となった事故																																																												
	⑮ ガス栓の欠陥, 損壊又は破壊によりガス栓 から漏えいしたガスに引火することにより, 発生した負傷・物損事故(⑭に掲げるもの を除く。)	⑯ ガス栓の欠陥, 損壊又は破壊によりガス栓 から漏えいしたガスに引火することにより, 発生した負傷・物損事故(⑮に掲げるもの を除く。)																																																												
	⑯ 消費機器又はガス栓の使用に伴い人が死亡 し, 中毒し又は酸素欠乏症となった事故(⑭ 及び⑮に掲げるものを除く。)	⑰ 消費機器又はガス栓の使用に伴い人が死亡 し, 中毒し又は酸素欠乏症となった事故(⑮ 及び⑯に掲げるものを除く。)																																																												
	⑰ 消費機器から漏えいしたガスに引火するこ とにより, 発生した物損事故(消費機器が 損傷した事故であって, 人が死亡せず, 又 は負傷しないものに限る。)	⑱ 消費機器から漏えいしたガスに引火するこ とにより, 発生した物損事故(消費機器が 損傷した事故であって, 人が死亡せず, 又 は負傷しないものに限る。)																																																												
	⑱ 消費機器又はガス栓から漏えいしたガスに 引火することにより, 発生した負傷・物損 事故(⑭から⑰までに掲げるものを除く。)	⑲ 消費機器又はガス栓から漏えいしたガスに 引火することにより, 発生した負傷・物損 事故(⑮から⑱までに掲げるものを除く。)																																																												
	(注 1)保安閉栓:導管の工事及び導管に損傷を与えた工事以外の 原因により導管からガスが漏えいした場合において災害 の発生を防止するためガスの供給を停止したこと(1の建 物について供給支障事故となったものに限る。) ○「速報」:電話・ファクシミリ装置その他適当な方法により行う。 「詳報報告書の提出により行う。」	(注 1)保安閉栓:導管の工事及び導管に損傷を与えた工事以外の 原因により導管からガスが漏えいした場合において災害 の発生を防止するためガスの供給を停止したこと(1の建 物について供給支障事故となったものに限る。) ○「速報」:電話・その他適当な方法により行う 「詳報報告書の提出により行う。」																																																												
P136	(基)問19 解答 (3) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>分子式</th> <th>分子量</th> <th>1molの質量(g)</th> <th>1molの体積(ℓ)</th> <th>1kgの体積(kℓ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A:メタン</td> <td>CH₄</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>22.4</td> <td>$\frac{22.4}{16}$</td> </tr> <tr> <td>B:プロパン</td> <td>C₃H₈</td> <td>44</td> <td>44</td> <td>22.4</td> <td>$\frac{22.4}{44}$</td> </tr> <tr> <td>C:窒素</td> <td>N₂</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>22.4</td> <td>$\frac{22.4}{24}$</td> </tr> <tr> <td>D:酸素</td> <td>O₂</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>22.4</td> <td>$\frac{22.4}{32}$</td> </tr> </tbody> </table> 体積の大小関係は, A>C>D>B 従って, 体積の大小関係として正しいものは(3)である。 (2年-4)		分子式	分子量	1molの質量(g)	1molの体積(ℓ)	1kgの体積(kℓ)	A:メタン	CH ₄	16	16	22.4	$\frac{22.4}{16}$	B:プロパン	C ₃ H ₈	44	44	22.4	$\frac{22.4}{44}$	C:窒素	N ₂	24	24	22.4	$\frac{22.4}{24}$	D:酸素	O ₂	32	32	22.4	$\frac{22.4}{32}$	(基)問19 解答 (3) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>分子式</th> <th>分子量</th> <th>1molの質量(g)</th> <th>1molの体積(ℓ)</th> <th>1kgの体積(kℓ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A:メタン</td> <td>CH₄</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>22.4</td> <td>$\frac{22.4}{16}$</td> </tr> <tr> <td>B:プロパン</td> <td>C₃H₈</td> <td>44</td> <td>44</td> <td>22.4</td> <td>$\frac{22.4}{44}$</td> </tr> <tr> <td>C:窒素</td> <td>N₂</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>22.4</td> <td>$\frac{22.4}{28}$</td> </tr> <tr> <td>D:酸素</td> <td>O₂</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>22.4</td> <td>$\frac{22.4}{32}$</td> </tr> </tbody> </table> 体積の大小関係は, A>C>D>B 従って, 体積の大小関係として正しいものは(3)である。 (2年-4)		分子式	分子量	1molの質量(g)	1molの体積(ℓ)	1kgの体積(kℓ)	A:メタン	CH ₄	16	16	22.4	$\frac{22.4}{16}$	B:プロパン	C ₃ H ₈	44	44	22.4	$\frac{22.4}{44}$	C:窒素	N ₂	28	28	22.4	$\frac{22.4}{28}$	D:酸素	O ₂	32	32	22.4	$\frac{22.4}{32}$
	分子式	分子量	1molの質量(g)	1molの体積(ℓ)	1kgの体積(kℓ)																																																									
A:メタン	CH ₄	16	16	22.4	$\frac{22.4}{16}$																																																									
B:プロパン	C ₃ H ₈	44	44	22.4	$\frac{22.4}{44}$																																																									
C:窒素	N ₂	24	24	22.4	$\frac{22.4}{24}$																																																									
D:酸素	O ₂	32	32	22.4	$\frac{22.4}{32}$																																																									
	分子式	分子量	1molの質量(g)	1molの体積(ℓ)	1kgの体積(kℓ)																																																									
A:メタン	CH ₄	16	16	22.4	$\frac{22.4}{16}$																																																									
B:プロパン	C ₃ H ₈	44	44	22.4	$\frac{22.4}{44}$																																																									
C:窒素	N ₂	28	28	22.4	$\frac{22.4}{28}$																																																									
D:酸素	O ₂	32	32	22.4	$\frac{22.4}{32}$																																																									

注:P27 と P28 は 2023 年5月ガス事業関係法令一部改訂により変更したものです。